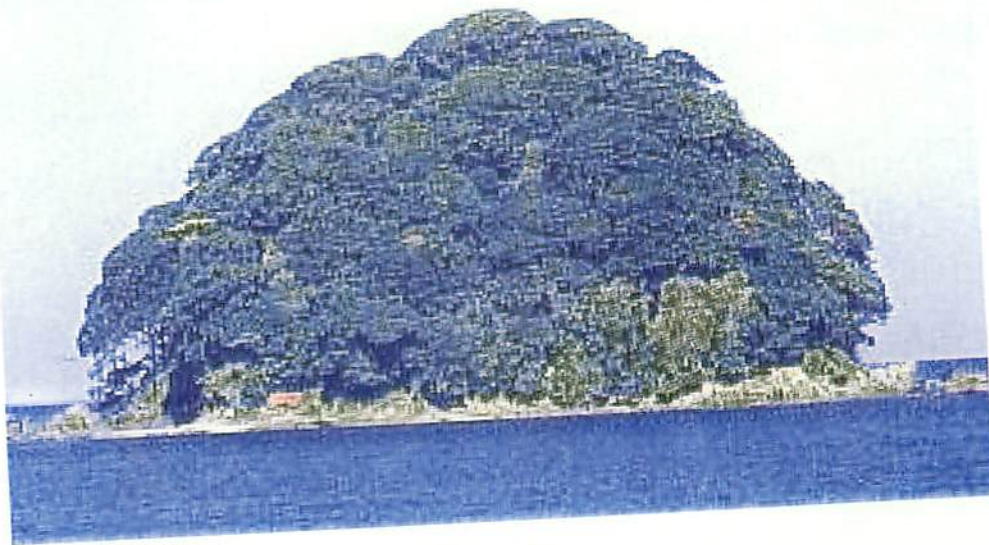


加斗地区長期計画

ふるさと加斗の未来に向けて
みんなで見つめ、話し合い、取り組もう！



蒼 島

平成16年3月
加斗地区新世紀むらづくり委員会



目 次

1. はじめに	-----	P 3
2. 総 論	-----	P 4
3. 加斗地区の将来へ向けた委員会の設置	-----	P 5
4. 第1章 産業	-----	P6～8
・ 地区民が主体となって取り組む事業		
(農業の活性化と村おこし事業)		
・ 地区民と市が協働して取り組む事業		
(地産地象運動とイベント事業)		
・ 市に依頼しなければ出来ない事業		
(文化財を利用した観光整備事業)		
5. 第2章 福祉・環境	-----	P 9
・ 地区民が主体となって取り組む事業		
(ゴミに負けるな加斗クリーンアップ事業)		
・ 地区民と市が協働して取り組む事業		
(地区ボランティア推進事業)		
・ 市に依頼しなければ出来ない事業		
(安心快適むらづくり事業)		
6. 第3章 歴史・教育	-----	P10～13
・ 地区民が主体となって取り組む事業		
(伝統文化遺産の保存・活用事業)		
・ 地区民と市が協働して取り組む事業		
(地域づくり活性化事業)		
・ 市に依頼しなければ出来ない事業		
(文化意識啓発・健康増進事業)		
7. 加斗地区新世紀村づくり委員会名簿	-----	P14
村づくりアンケート	-----	P15～21



《はじめに》

加斗地区長期計画のまとめにあたって

小浜市は、平成13年度から、3年間で食のまちづくりを基本にした市民参加の新世紀いきいきまち・むらづくり支援事業を計画し、各地区毎に委員会を設置、それぞれ地区の長期ビジョン・振興計画の企画立案を進めてまいりました。

私たちが3年間に亘って、日々変化していく加斗地区の今日までの状況や、これからどのように未来へ向けて発展させていくかを検討してまいりました。

むらづくりは行政（地方自治体）や、経済動向によって大きな影響を受けます。それは個人の力だけでなく資本（財力）の力で変革していきます。しかし、その根っこには地域（地区）に住む人の意向とマッチしたものであるべきだと思います。当地区には数多くの文化財も有しております。

これらの財産を生かしながら『温故知新』的視野にたち、地区の発展とむらづくりの基本にすべきだと考えます。

地区民への「むらづくりアンケート」も実施して、多くの皆さんのお気持ちも含まれていますが、この計画は全てではありません。この案をもとに加斗地区の将来へ向けて、常に検討・改革をしていくプロジェクトチーム（委員会）を設置し、地域発展の為へ具体的な取組みを実施して行きます。

平成16年3月

加斗地区新世紀村づくり委員会

委員長 岡高司

【総論】

加斗地区は小浜湾に沿って走る国道27号線やJR小浜線の加斗駅、勢浜駅があり、長く広がる各集落には山、川、海と豊かな自然に囲まれて多くの文化遺産も有しています。平成15年3月には舞鶴若狭自動車道の小浜市の玄関口である小浜西インターが開通しました。

又、若狭西街道の工事も着々と進んでいます。

新世紀むらづくり委員会では加斗地区のいきいき村づくりを目指し、先進地への視察と研修の後、専門委員会を設置し、地区内の皆さんにアンケートの実施と意見交換会を行なってきました。

地区の将来を展望する時、なんと言っても生活環境の基盤整備が基本であり、土地利用を初め広域農道網アクセスや、地区内周回道路の整備、農業・漁業・林業の後継者養成と振興など課題は山積しています。



今後の取組みたい事業として、

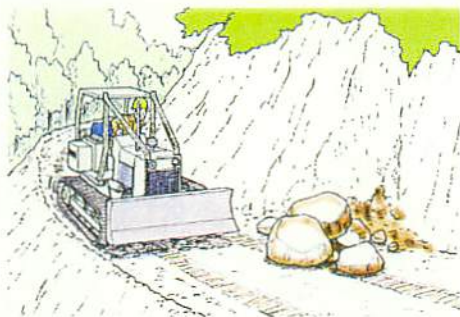
- * 地域の特性を生かし自然環境と調和した快適で住みよい生活空間の創出を目指します。
- * 良き伝統を守りながらも時代の変化には柔軟に対応し、訪れる人も住んでる人も心安らぐ村づくりを目指します。
- * ふるさとを見直し、子供から高齢者まで皆が心と心の交流により学びあい、生きる喜びを共感できる、心身とも健康で安心して生活のできる伝統文化の息づく豊かな地域社会づくりを目指します。

加斗地区の将来へ向けた委員会の設置

- * 加斗地区の将来へ向けて常に検討・研究するプロジェクトチーム（委員会など）を設置する。



- * 委員会は、区長会の諮問機関とし、区長会へ提言したり、各団体とも連携し、地域の発展に向けた調整機能を持つものとする。
- * 委員会には、各団体の代表者も含めた構成にする。





第1章 産業

加斗地区の産業は、水稻を中心とした農業を主力として、穏かな小浜湾での漁業、飯盛山を中心とした緑豊かな山における林業などがあります。

また、当地区は文化財として指定されている飯盛寺、岡津製塩遺跡があり、鯉川シーサイドパーク、勢浜海水浴場といった自然豊かな海の施設も完備されています。

交通面では、平成15年から開通した舞鶴若狭自動車道小浜西インターが岡津地区に出来、小浜市の西の玄関口として、利用されています。また、農産物輸送道路として若狭西街道が建設中であります。

このような自然豊かな交通網が完備しつつある加斗地区の第一次産業である農業、漁業、林業の各方面から取り分け後継者不足対策と振興、豊富な自然を生かし、交通機関の充実とともに人を集客できる観光産業から加斗地区の活性化を目指します。

地区民が主体となって取り組む事業（農業の活性化と村おこし事業）

事業名	事業内容	実施時期
農業振興事業 (特産品の開発・推奨 と将来農業の策定)	*担い手農家、認定農業者、農家（後継者）などで 委員会を設立し、加斗地区の農業の振興について 検討を行なう。助言者としてJAや市に依頼。 *加斗地区として特産を選定し、加斗名産を作り 上げる。	2005年 3月までに
村おこし事業 (炭焼き小屋)	*炭焼き小屋を作成し、運用を図る。 *地区の達人の指導による炭焼き体験と世代間交 流を図る。 *飯盛山登山と炭焼きをセットにした観光産業に よる集客効果を将来展望の視野に入れる。	通年

観光農園・ 貸農園事業	<ul style="list-style-type: none"> * 離農が進む遊休農地を募集し、観光農園、貸農園を企画、運営を行なう。 * インターネットによる、募集PRを行い、広くお客を募る。 	2005年 4月以降
----------------	--	---------------

地区民と市が協働して取り組む事業（地産地象運動とイベント事業）

事業名	事業内容	実施時期
特産品販売事業 (地産地象運動)	<ul style="list-style-type: none"> * 自動車道サービスエリアへの特産品販売コーナーへの参入企画。 * 農家が中心となり、組合組織を立ち上げ、農家が組合に加入し、自分が生産した収穫物を組合として販売する。 	2005年 4月以降
イベント事業	<ul style="list-style-type: none"> * 鯉川シーサイドパークを利用した、文化祭に代わるイベントの企画、実施を行なう。 * 地区に伝わる伝承芸能や農産物直売所など * 鯉川シーサイドパーク、勢浜海水浴場を利用した、ビーチバレーボール大会などの開催。 	2005年 4月以降

市に依頼しなければ出来ない事業（文化財を利用した観光整備事業）

事業名	事業内容	実施時期
飯盛山登山道 整備事業	<ul style="list-style-type: none"> * 上加斗、法海地区からの飯盛山登山道を整備し、上加斗地区の象徴として飯盛山のPRを行なう。 * 観光資源としての確立を目指す。ハイキングコース、登山コースを設定する。 	2005年 4月以降

観光施設整備事業	<p>*岡津製塩遺跡をもっと、文化財として位置づけさせるため、遺跡周辺の整備を行なう。</p> <p>*遺跡の歴史的価値を高めるため、市の全面的な協力を得る。</p>	通年
----------	---	----



飯盛寺本堂

山号深山。高野山真言宗。

飯盛山中腹の景勝地にたつ飯盛寺は、縁起によると、文和年中（1352～1356）に、後光厳院の勅願所として建立され、七堂伽藍と12坊を擁した寺院でした。文明16年（1484）火災に遭い、本堂・塔頭・什物すべて焼失したと伝えられています。今残る本堂は、延徳元年（1489）に建立されたことが、平成10年の解体修理によって判明しました。

自然石の石垣積基壇にたつ本堂は、間口13.66m（五間）、奥行き12.88m（五間）の広さです。単層、寄棟造、妻入、棧瓦葺（旧は茅葺で近代に改造した）、四方切目縁の五間堂で、各部の基調は和様を主とし向拝を後設しています。

岡津製塩遺跡

指定 昭和54年5月21日 国指定

所在地 小浜市岡津

管理者 小浜市

本遺跡は昭和53年と昭和54年に発掘調査を実施した。若狭地方には、土器製塩遺跡が50ヶ所確認されているが、本遺跡はそれらの中でも、極めて保存の良好なものとして、香川県の吉兵衛島の製塩遺跡と共に国の史跡に指定された。

本遺跡は、古墳時代後期～奈良時代にかけてのもので、石を敷きつめた製塩遺跡（1号炉～4号炉）です。更に現海岸線より約20m奥に海岸部遺溝（護岸）、その東に南北約30m、東西約10mの範囲の性格不明の焼土面が検出されている。古代の土器製塩工場跡の全容を示す遺跡といえる。

若狭で生産された塩は、奈良の都へ税（調塩）として納められていた。

このことは藤原宮や平城宮出土の若狭からの送り状（木簡）が物語っている。



第2章 福祉・環境

自然と調和した安全で快適な生活環境づくり

海や山といった自然環境に恵まれた加斗地区において、ゴミのポイ捨て、交通事故や犯罪の危険性の増加に対し、地区民の自発的活動によるゴミ対策や清掃管理と生活環境の施設や条例などの整備により、美しく安全で快適な環境作りを掲げて、守っていくよう努める。

生きがいとふれあいで築く福祉社会

地区ボランティアや地区行事などへの地区民の積極的参加を図ることにより、住民の地区に対する意識を向上させ、地区の活性化を図ると共に、地区民のふれあいによる福祉社会を目指す。

地区民が主体となって取りくむ事業『ゴミに負けるな加斗クリーンアップ事業』

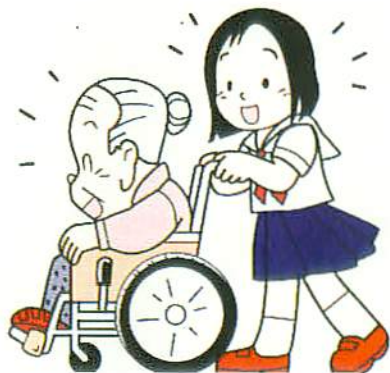
事業名	事業内容	実施時期
各区ボランティア or 団体によるゴミ清掃と草刈り	*区ごとに区間・区域を決めて、自主的な活動によるゴミ清掃と草刈作業の実施とその支援活動をする。	2005年 4月～
学校・児童館・公民館周辺などの清掃・管理整備	*各公共施設周辺の花壇などや公園化への管理体制の構築を図る。	2006年 ～
海岸や道路沿線の地元定期パトロール	*加斗地区で特に不法投棄やゴミのポイ捨てが多い箇所の地元パトロールと通報による監視体制づくりの実施。	2005年 7月～
子ども達を犯罪からまもる運動	*地区民による挨拶運動の実施。 *通学路での犯罪未然防止体制の確立。	2004年 7月～

地区民と市が協働して取り組む事業 (地区ボランティア推進事業)

事業名	事業内容	実施時期
「チョボラ」活動の育成支援	*地区ちょっとボランティアの推奨と育成支援活動を実施。	2006年以降
公共地の公園化	*駅・学校児童館周辺の公園化整備を行なう。	2007年～

市に依頼しなければ出来ない事業 (安心快適むらづくり事業)

事業名	事業内容	実施時期
交通安全施策	* 通学・通勤路線や国道沿線の歩道・街灯などの交通安全施策の整備を実施。	通年
危険行為など抑制条例の整備要求	* 「ゴミのポイ捨て」と海水浴地などでの危険行為 (ジェットスキーや打ち上げ花火) 禁止の市条例の制定と取り締まりの要求を実施。	2005年～



第3章 歴史・教育

伝統文化を守り、育む里づくり

加斗地区に残る文化財、名所旧跡などの伝統・文化遺産を保存、活用するとともに後世に語り伝え、また、新しい芸術文化を育む里づくりを目指す。

学び・ふれあい・いやせる里づくり

地域の活性化は、ハード事業からソフト事業へ、行政主導から地域コミュニティ協働型へ変化している現状に対応するため、人づくり・地域づくり・スポーツレクリエーション活動・男女共同参画社会づくりを推進するとともに、国際性豊かな人材を育てるなど学び・ふれあい・いやせる里づくりを目指す。

地区民が主体となって取り組む事業(伝統文化遺産の保存・活用事業)

事業名	事業内容	実施時期
むら自慢・お宝物 掘起し事業	*地区に残る文化財、伝統文化、偉人、著名人などを発掘・収録した「地区史」を編纂、書籍化ではなくホームページに掲載、保存、情報公開する	2006～
むらのガンバリ屋 模範を賛える事業	*地区民の中で徳行や地域づくり・社会・文化活動など地域のイメージアップに貢献、功績を残した人を表彰する。	2006～
我が区のひと花街道 創設事業	*各区毎に主要道路沿いまたは公共建物周辺などに花壇・プランターを設置、季節の花木を植栽・管理して地域の環境美化及び区民の癒しゾーンとして活用する。	2005～

<p>「加斗大好き」再認識 文化創作展事業</p>	<p>*地域内の幼児から大人まで、絵画、写真などの文芸・文化作品を募集、優秀作品には地域で収穫された産品を授与、加斗の良さを再認識、PRする。</p>	<p>2005～</p>
<p>鯉川・勢浜ビーチ 活性化快汗事業</p>	<p>*鯉川シーサイドパーク、勢浜海水浴場の砂浜を会場に、砂浜を生かした綱引き(強力自慢)ソフトバレーボール(技自慢)大会を開催。 地区民のスポーツレクリエーションの普及、及び健康維持と既存観光資源のPRを図る。</p>	<p>2007～</p>
<p>青い目のチビっ子 お遊び英会話事業</p>	<p>*幼児から小学校低学年を対象に、地区内の公共施設を利用し、市内在住の外国語指導助手をアシスタントに招き日常英会話ふれあいトークを開催。小さいころから英語に興味を持たせ、国際性豊かな人づくりを目指す。</p>	<p>2005～</p>
<p>父ちゃんのエプロン ディナーもてなし事業</p>	<p>*各区毎に集落センターを会場に夫婦が参加し、夫が食事づくり、妻が会場設営を分担、食事をしながら懇親・交流を深め、男性も台所に立つことにより男女共同参画の意識啓発と男性の家事に対する自立心を醸成する。</p>	<p>2005～</p>
<p>女性のむら役 出番創出事業</p>	<p>*地区区長会、各種団体が主導して、各区役員及び各種団体役員にできるだけ女性を選任するため、女性役員の選考可能なポストを内部協議、合意のうえ申合せルールをつくる。</p>	<p>2006～</p>

地区民と市が協働して取り組む事業(地域づくり活性化事業)

事業名	事業内容	実施時期
芸術家のたまご 育み事業	*芸術家の卵を育成するためその創作・活動拠点として空き家等を無料提供、地元住民に活動成果を公開、文化意識の向上を図る。	2007～
集落PTA充実事業	*現状の集落PTAは理想と現実に大きなギャップがあるため、小・中・高生を地域が繋ぎ止めるわかりやすいキーワード、役割分担について原点を議論、実施計画を作る。	2006～
他所っ子山里留学 招致事業	*里親制度を創設して、地区と教育委員会がタイアップ、都会っ子を加斗小学校に留学させ異質文化交流を体験する。	2007～
「かと」同名地区 交流事業	*福井県三国町「加戸」地区と同名地区として「姉妹交流」のイベントを計画する。	2006～

市に依頼しなければできない事業(文化意識啓発・健康増進事業)

事業名	事業内容	実施時期
わかさ小浜歴史街道 探訪事業	*既存のサイクリング道路、建設中の西街道等を利用したサイクリングコースを整備充実し、市内の文化遺産等をサイクリング探訪、文化意識の向上と健康増進を図る。	西街道全線 開通後～



<加斗地区新世紀むらづくり委員会>

委員長	岡 高司
副委員長	久保義治・松井国彦・伊崎紀子

産 業 部 会	
部会長	梅崎俊一
副部会長	柿本正夫・松井俊樹
委員	木橋正昭・上山恵三・家山健治・伊崎紀子・土井宏幸 松井国彦・森本信二・服部國昭・池谷一長・平井重徳

福祉・環境部会	
部会長	中川英尚
副部会長	木戸和代
委員	三木尚・木橋啓治・久保義治・地村秀代・地村太市郎 柴田栄子・山崎武・松葉雅美・稲川了二

歴史・教育部会	
部会長	大同将成
副部会長	岡本博之
委員	岡高司・岡弘子・地村敏幸・松井幸夫・森下雅至・ 磯野博美・安藤尚久・岩滝博志・霜中正樹

(区長・市会議員は役職年度により交替)

事務局 加斗公民館

村づくりアンケート

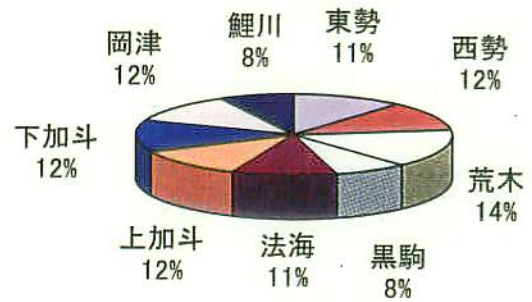


平成 15 年 1 月実施
加斗地区新世紀むらづくり委員会

調査対象

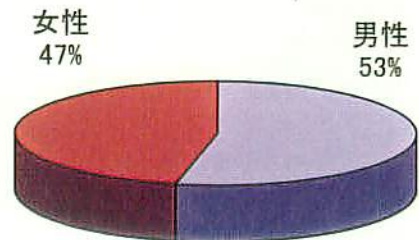
地区別	配布数	回収数	回収率
東勢	36	36	100%
西勢	44	37	84%
荒木	52	49	94%
黒駒	27	24	89%
法海	39	34	87%
上加斗	42	38	90%
下加斗	47	40	85%
岡津	38	37	97%
鯉川	25	25	100%
合計	350	320	91%

配布数 350
回収数 320
回収率 91%

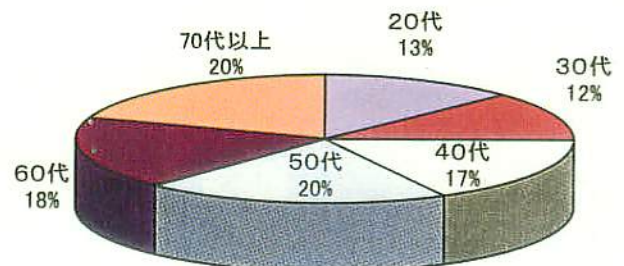


問1. あなたの性別・年齢は?

性別	人員	割合
男性	171	53%
女性	149	47%
合計	320	

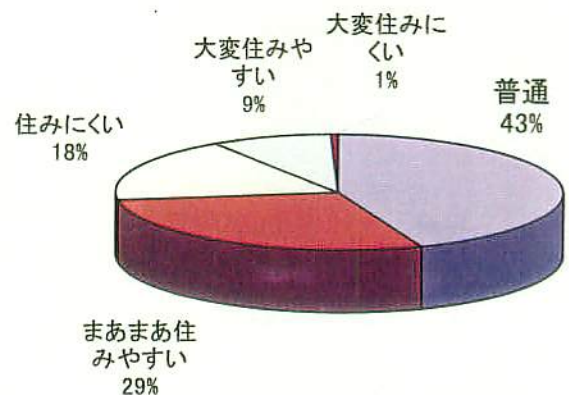


年齢区分	人員	割合
20代	41	13%
30代	39	12%
40代	54	17%
50代	64	20%
60代	59	18%
70代以上	63	20%
合計	320	



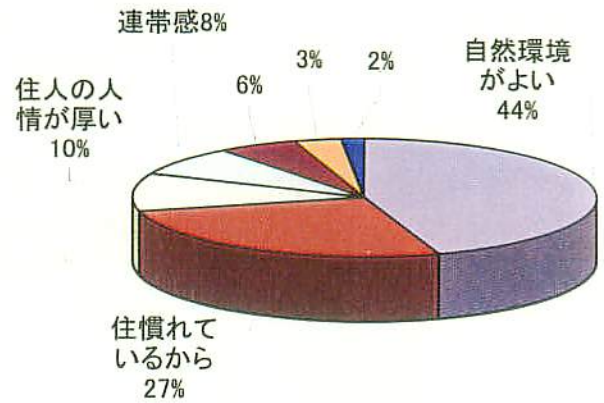
問2. 加斗地区に住んでの感想は?

区分	人員	割合
普通	140	43%
まあまあ住みやすい	93	29%
住みにくい	57	18%
大変住みやすい	28	9%
大変住みにくい	2	1%
合計	320	



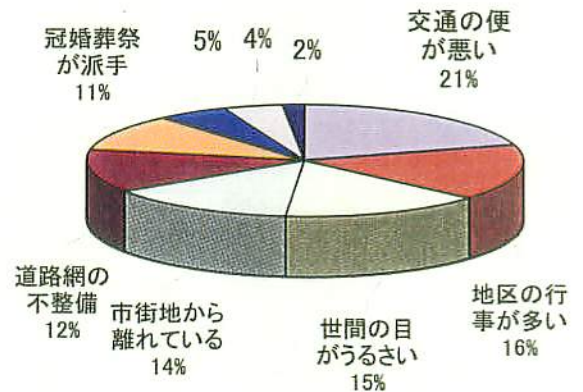
問3. 住みやすいと感じている理由

区分	人員	割合
自然環境がよい	101	45%
住み慣れているから	60	27%
住人の人情が厚い	23	10%
地域の連帯感がある	18	8%
上下水道が整うから	13	6%
通勤・通学に便利	7	3%
地区の行事が適当にある	4	2%
その他	0	0%
合計	226	



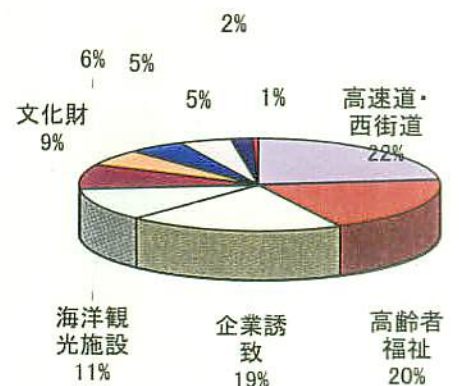
問4. 住みにくいと感じている理由

区分	人員	割合
交通の便が悪い	23	20%
地区の行事が多い	18	16%
世間の目がうるさい	17	15%
市街地から離れている	16	14%
道路網の不整備	14	12%
冠婚葬祭が派手	12	11%
公園(遊園地)がない	6	5%
娯楽施設がない	5	4%
公共施設が整っていない	2	2%
その他	0	0%
合計	113	



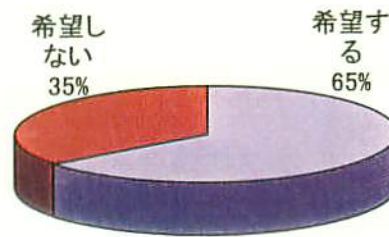
問5. 加斗地区の将来展望として、重点的に要望すべき施策は

区分	人員	割合
高速道・西街道を活かした地域の活性化	174	23%
介護等高齢者福祉の充実	147	20%
雇用創出につながる企業誘致	146	19%
海洋観光施設の設置	86	11%
文化財を活かした観光施策	65	9%
加斗駅周辺地の公共利用	42	6%
公民館等公共施設の充実・整備	38	5%
農・林業の振興	37	5%
自転車道の早期完成	14	2%
その他	4	1%
合計	753	



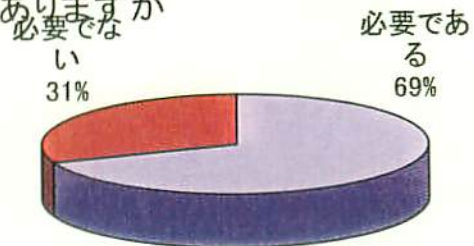
問6. 舞鶴若狭自動車道サービスエリアに「特産品コーナー」を設置することに対して

区分	人員	割合
希望する	185	65%
希望しない	101	35%
合計	286	



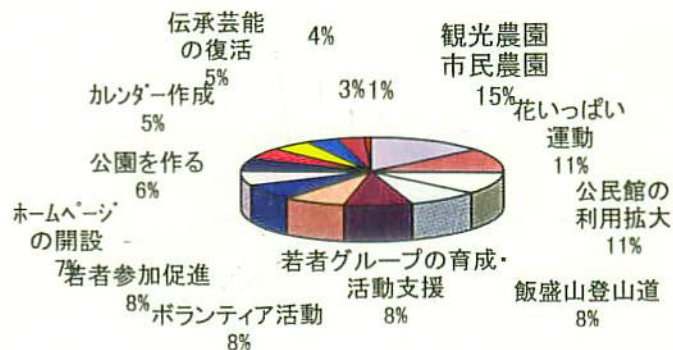
問7. 農地を活性化のために利用する必要があると思いますか

区分	人員	割合
必要である	189	69%
必要でない	83	31%
合計	272	



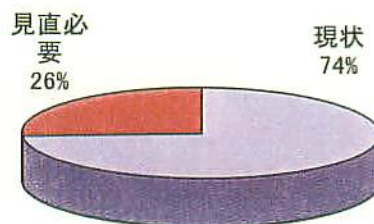
問8. 加斗地区が主体となって取り組んだらよいと思われる事業や行事は

区分	人員	割合
観光農園・市民農園の設置	114	14%
花いっぱい運動で加斗地区のイメージアップ	89	11%
公民館の自主的利用拡大	85	11%
飯盛山登山道の整備	66	8%
若者グループの育成・活動支援	66	8%
ボランティア活動の支援	62	8%
各種行事の若者参加促進	60	8%
インターネットホームページの開設	56	7%
住民の力で公園を作る	46	6%
加斗地区の名所・旧跡・各種行事等のカレンダー作成	42	5%
伝承芸能の復活	39	5%
男女共同参画社会づくり	32	4%
青少年健全育成の各種取組	26	3%
その他	6	1%
合計	789	

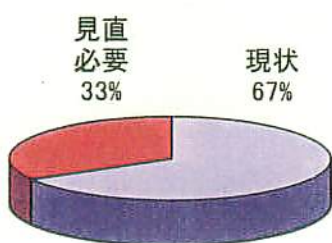


問9. 加斗地区での行事・活動の運営やあり方についての考え方

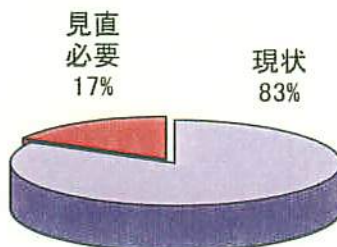
項目	現状でよい	見直し必要
体育祭	223	79
文化祭	193	97
敬老会	231	47
青年層の活動	120	81



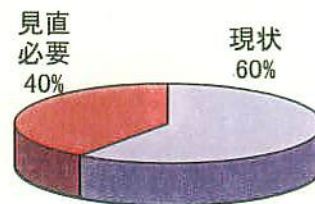
体育祭



文化祭



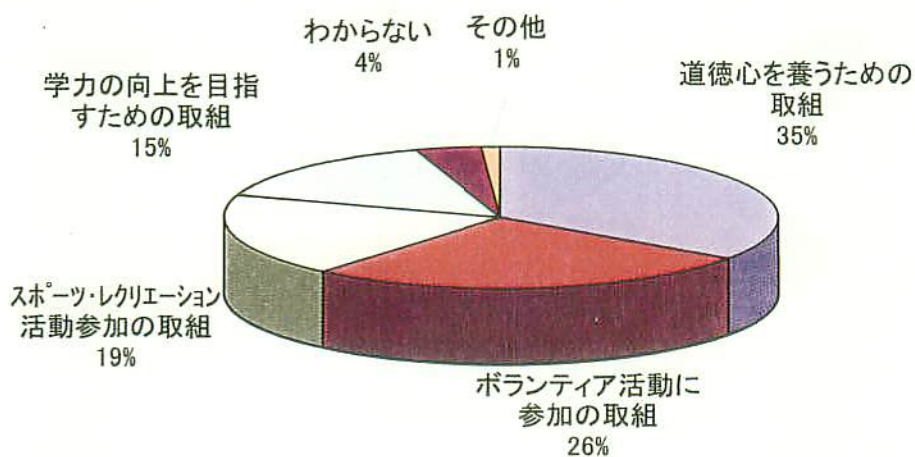
敬老会



青年層活動

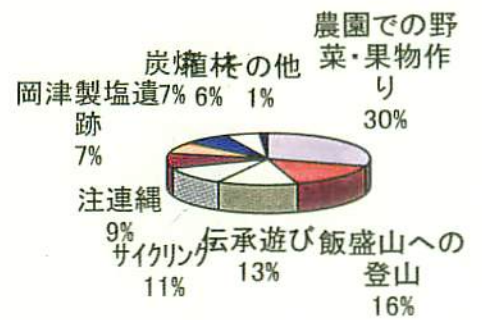
問11. 学校週5日制での休日の過ごし方について取り組むべきこと

区分	人員	割合
道徳心を養うための取組	176	35%
ボランティア活動に参加するための取組	134	26%
スポーツ・レクリエーション活動に参加するための取組	97	19%
学力の向上を目指すための取組	76	15%
わからない	19	4%
その他の取組があれば具体的に	6	1%
合計	508	



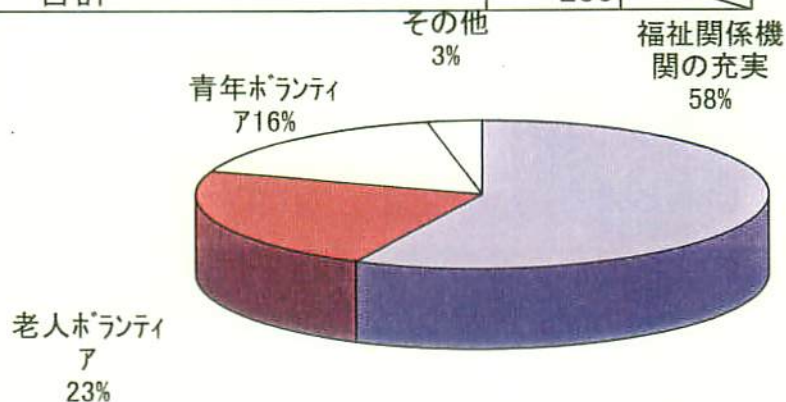
問12. 学校週5日制で休日を利用した三世代交流行事で参加したい行事は

区分	人員	割合
農園での野菜・果物作り	150	30%
飯盛山への登山	80	16%
色々な伝承遊び	65	13%
自転車道を利用したサイクリング	57	11%
注連縄作り	45	9%
岡津製塩遺跡の勉強と塩作り	38	7%
炭焼き体験	37	7%
山での植林	28	6%
その他	7	1%
合計	507	



問14. 高齢化対策として適当なものは

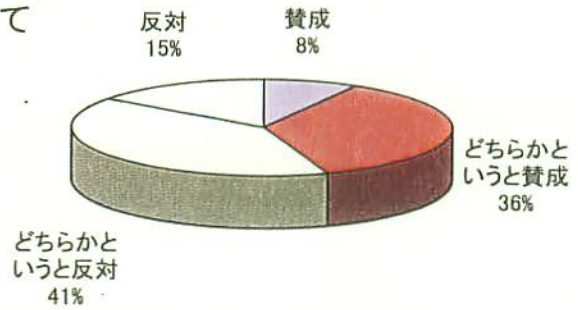
区分	人員	割合
福祉関係機関の充実を行政へ要望する	163	57%
各集落壮年会・等の働きかけによる老人ボランティア活動	66	23%
3世代交流による若年層のボランティア精神育成	47	16%
その他	9	3%
合計	285	



問15. 男女共同参画社会について

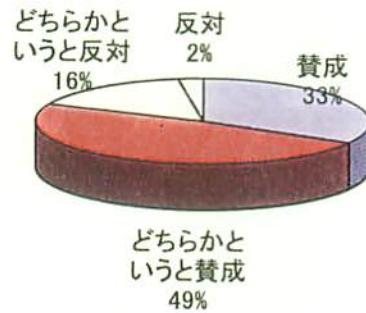
「男は仕事・女は家庭」という考え方について

区分	人員	割合
賛成	23	8%
どちらかという賛成	104	36%
どちらかという反対	116	41%
反対	43	15%
合計	286	



「家事は男性も女性も分け隔てなく行う」という考え方について

区分	人員	割合
賛成	96	33%
どちらかという賛成	140	48%
どちらかという反対	47	16%
反対	7	2%
合計	290	



問16. 加斗地区に伝わる文化財等に対して

歴史遺産を後世に伝え行くための取組について

区分	人員	割合
形のある物は看板などを立て意識啓発を図る	130	48%
「村史」や「ビデオ」などの記録物を編集する	108	40%
専門家の講演や講座を開催する	33	12%
その他具体的事項	0	0%
合計	271	

